



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 489 (2019. 1. 25)

<今週のトピックス>

病院で美食

ニューヨークにある大手病院 M を運営する投資ファンドが、患者に提供する食事の改善を目的に、栄養士が監修した美味しい食事を一般顧客にデリバリーする企業への投資を加速しています。このようなサービスの利用者はダイエット目的の個人が多いのですが、病院の、特に消化器系の患者にとって消化が良くかつ栄養豊富で美味しい食事は魅力的であり、ファンドにとっては食事の改善が病院の価値向上に資するという考えのようです（ちなみにこのサービスを提供する企業名は英語で「美食家」です）。

生活習慣病などの長期間にわたってつきあっていかなければならない疾患の患者にとって、日々の食事の栄養バランスが重要なのは言うまでもないことですが、病院の目が届くのは患者が入院中だけです。そこで、M 病院では、患者がこの食事サービスを利用する場合は割引を受けられるといったインセンティブを付けることでサービスの利用を促し、食生活の改善をサポートしています。



1食 \$ 12~18（保険適用外）と日本人の感覚としては高価格ですがニューヨークでは一般的なランチボックスと同程度の価格帯であり、ダイエット利用および患者の食生活改善のための利用双方で順調に売上が伸びているようです。まさに、Win（患者） - Win（病院およびサービス事業者） - Win（投資ファンドおよびファンドの投資家）の関係です。日本の病院の食事も様々な工夫がなされていますが、既存ビジネス同士の融合で付加価値を生み出すアメリカの投資ファンドの取り組みの一つとしてご紹介させていただきました。

（出所：Wall Street Journal）

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお申しあげます。
- ・本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。